

22年ぶり新型タクシー



トヨタ 五輪おもてなしに

トヨタ自動車は23日、後部座席を広くするなど「おもてなし」を意識した設計の新型タクシー「JPN TAXI（ジャパンタクシー）」を発売した。タクシー専用の新型車は1995年以来、22年ぶり。2020年の東京五輪・パラリンピックに向けてタクシー会社に導入を促す。

トヨタ自動車が発売した新型タクシー「ジャパンタクシー」

23日午後、東京都江東区

トヨタのタクシーは国内市場の約9割を占める。現在は3車種を生産しているが、来年1月にいずれも生産を停止し、新型タクシーの1車種とする。

タクシー会社の要望に応じて塗装していた車体は濃い藍、黒白の3色に絞り、タクシーのイメージ統一を目指す。

月間販売目標は千台。23日に東京都内で開いた出発式で、トヨタの豊田章男社長は「安心と安全、清潔が日本のタクシーの国際的な競争力だ。世界一にしたい」と語った。

①今までのタクシーとどこが変わりましたか。

②トヨタのタクシーは国内市場の何割を占めていますか。

③日本のタクシーの競争力を3つ書きましょう。

2017年10月24日 朝刊

年 組 名前

(小学校高学年・中学校 社会・総合)